

低学年道徳学習指導案

日 時 平成 26 年 7 月 16 日 第 5 教時

児 童 1 年生女子 1 名 2 年生男子 1 名女子 1 名
合計 3 名

指導者 教頭 佐々木 朗

1 主題 自分や友だちを大切にしよう (情報モラル)

2 主題設定の理由

21 世紀は、情報革命と言われるほど、高度情報化社会が発達してきている。子どもたちの生活環境にも情報機器が入り、その利用も低年齢化してきている。子どもたちに、情報の正しい受信、発信、活用をする力を身につけさせることは、教育の今日的な喫緊の課題となっている。また、情報社会は、悪意のある大人が子どもたちを罠に陥れ、また時には、加害者になる危険性もはらんでいる。さらに、SNS などネットコミュニケーションを使っているいじめや人間関係のゆがみなど生徒指導上の問題も発生している。

このような中、子どもたちに計画的、意図的に情報モラルを指導していくことが大切である。

今回の授業では、子どもたちにとって身近な存在である電話を通して、個人情報を入力しようとする大人から子どもたちが身を守る手段を、実技を通して身につけることを目的に設定した。

3 本時の指導

(1) 目標

- ・ 個人情報を守ることが、自分や友だちを大切にすることがわかる。
- ・ 知らない人からの声かけや電話への対応の仕方がわかる。

(2) 展開

	学習活動	指導上の留意点 ☆評価
導入	(1)今日の勉強の内容を知る 「自分や友だちを大切にしよう。」 (2)「知らない人に(の)」に続けて 「・・・・・・・・・・ない。」の文を作り、不審な人に警戒心を持つことを想起させる。 (3)それがどうしてなのかを考える。	・ 黒板に掲示する。 ・ 「ついていかない」「ものをもらわない」「車に乗らない」など ☆知らない人の中には、悪意を持って子どもに近づく大人もいることを認識することができる。

展開	<p>(4)給食センターのスキットを聞く。</p> <p>(5)どんなところが怪しいのかを考える。</p> <p>(6)どうやって対応するかを考える。</p> <p>(7)家に一人しかいないという想定で、模擬電話で対応の練習をする。</p> <p>(8)友だちのやりとりを聞いて、自分の考えとの違いを発表する。</p>	<p>☆公共機関が安易に家庭に電話をすることがないことがわかったか。</p> <p>☆自分や友だちの名前を話さずに断る方法が見つけられたか。</p> <p>・内線電話を使って、教師と児童との模擬やりとりを行う。</p> <p>☆個人情報を知ることやうまく断ることができたか。</p> <p>☆自分の番だったらとしてかんがえることができたか。</p>
整理	<p>(9)まとめ 今日の授業で感じたことをプリントに書く。</p> <p>(10)教師のまとめを聞く。</p>	<p>☆個人情報を安易に漏らさないということがわかったか。</p>

(3)教材・準備

- ・プリント
- ・スキット（H18 佐々木朗修士論文用スキット）
- ・内線電話（本校職員に協力してもらう）

じぶんやともだちをたいせつにしよう

()年 なまえ)

)

1 しらない人に(の)、

ない。

ない。

ない。

2 どうしてでしょう。

3 まとめ

--	--	--

スキット1

「もしもし、こんにちは。〇〇さんですか。」

「江差警察署の坂下です。こんにちは。」

「これから夏の交通安全運動が始まります。〇〇さんのおうちの人はスピードを出しすぎていませんか。」

「〇〇さんは、ちゃんとシートベルトをしていますか。」

「〇〇さんは、歩いている時、どんなことに気をつけていますか？」

「そう、すばらしいわね。お姉さんから、小学生のみんなに交通安全のキャラクター人形を送ろうと思うんだけど、住所を教えてくださいませんか？」

スキット2

「もしもし、こんにちは。〇〇さんですか。」

「乙部町のつくし保育園に新しく来た吉野です。こんにちは。」

「来月15日に、つくし保育園で、パーティーがあるの。〇〇さんは、つくし保育園を卒園したんだよね。」

「パーティーでは、ケーキを食べたり、ジュースを飲んだり

するの。○○さんは、どんなもの食べたい？」

「そう、じゃあ、準備しておくね。」

「ところで、このパーティーのことをもつと、たくさんのお友だちに知らせたいの。お友だちの名前と電話番号を教えてくださいませんか？」

スキット3

「もしもし。こんにちは。○○さんですか。」

「乙部消防署の中本です。こんにちは。」

「実は、お母さんが江差のブンテンの前で、交通事故にありました。」

「お母さんの車の色は何色ですか。」

「○色の車がだいぶぺしゃんこになって、今、お母さんを救急車で病院に運んでいるところです。」

「命は大丈夫のようですが、お話できる状態ではありません。おうちの人は誰かいますか。」

「それでは、すぐに迎えに行つて、○○さんを病院につれていってあげますので、国道まで出て、待ってくれませんか。」